

原料粒が大きい場合は注意ください

サイトに掲載されているスクリー供給機（代表としてSSPシリーズやSFスクリーフィーダーセット）などは、粉体から粒体を供給できるようにケーシングとスクリーの間に取りすぎの隙間を空けています。（3mm～8mm程度で設計）供給を想定している粒体は、Sp4(球状)の樹脂ペレット（硬い）で高密度0.8程度のものであります。



この程度の大きさの粒でも、噛み込みは発生いたします。

これを超える大きさや異形状のもの（粉砕物）は、スクリーで切出すときに以下の症状が現れ運転できない場合があります。

原料粒が大きい場合

例) 原料サンプル特徴

硬さ：親指と人差し指で握れば軽くつぶれる
かさ密度：0.14 軽い。イメージとしては麩のような感じ



原料サンプル



噛み込みが発生。

ガリガリ
ガリガリ

噛み込みの
音がする

切出し時のフィーダー内部



噛み込んだ時に粉になった
原料がある（底にたまる）

切出し時後の原料

この原料より硬くなったり、嵩密度が大きい、形状が同等か大きい場合は、噛み込みによりスクリーが回転しなくなる場合があります。

粒が大きくなると、噛み込みがおきやすくなり以下のトラブルの原因になります。

- ・原料が粉々になる
- ・運転中ガリガリ、ゴリゴリ大きな音がする。
- ・噛み込みが解けず、スクリーの回転が止まってしまい過負荷で運転が止まる。
- ・スクリーが折れたり、ギヤーマーターが破損する。

このような症状が出る場合は、原料とスクリーの相性がよくありません。使用を中止し、大型スクリーを検討していただくか、原料の再選定など他の対策をお願いせざる終えません。その費用は負担いたしかねます。

スクリー供給機仕様選定前に原料の粒状態を御確認ください。

御不明な点や御不安な場合は、お気軽にお問合せください。